

【11】地域住民が主体となった道路緑化による景観形成を支援します

～一般国道12号 旭川市台場地区 みちと緑ワークショップ～

旭川開建一2

取り組み内容

- 1, 背景：台場地区は旭川市の玄関口であり、来訪者を迎える重要な地域です。一般国道12号旭川新道の整備とあわせ、地元から台場地区周辺の緑化に対する要望があったことから、地域住民と関係団体が一体となって、みちと緑づくりについて話し合う場を開催しました。
- 2, ねらい：旭川市の玄関口であり、顔でもある国道12号台場沿線を、良好な道路空間として整備を進めるにあたり、関係者が一体となって、道路の植栽や継続した道路の緑づくりの仕組み・役割について話し合い、地域住民との協働による道づくりを推進していくことを目的としました。
- 3, 取り組み内容：

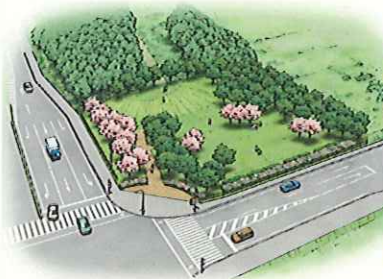
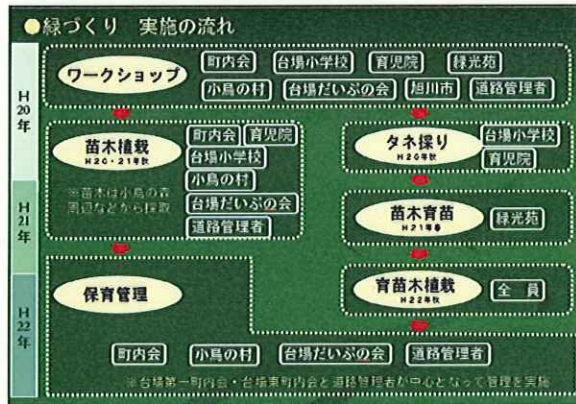


- 1) ワークショップ（大人たち）で行う事
 - ①関係者が緑づくりの姿を共有化し、各々の立場を踏まえ、協働する仕組みを設定
 - ②緑化候補地の整備像を立案・設定
 - ③保育管理の形を立案・設定
- コンセプト
「台場の森づくりを通して、大人から子ども達へ、みどりのたすきリレー」

- 2) 次世代を担う子供達に感じてほしい事、手伝ってもらおう事
 - ①なぜ道路に樹木を植栽するかを知ってもらう。そして森づくりの取り組みを共有化する
 - ②地域の樹木からタネを採取してプランターに蒔いてもらい、発芽までの間、育ててもらおうこと
 - ③緑化候補地のネーミングを考えてもらうこと
 - ④子供たちが採取したタネから育てた苗木の植栽

4, 取り組みにおける各者の役割

「ワークショップ」「地域の苗木植栽・育苗」「タネ採り」「保育管理」ごとに各関係者の役割を定めています。



5, 実施時期：平成20年6月30日～11月17日

平成21年4月以降はVSPとして活動を継続

6, 実施場所：台場第1町内会館及び一般国道12号沿線

7, 協働主体：町内会、台場小学校、育児院、緑光苑、小鳥の村、台場だいの会、台場小学校おやじの会

サポート：旭川市